

With コロナ

グローバルマーケットの変動と展望

四半期の売上高は約9億5千万ドルで、前年同期と比較して約40%減少した。全体で販売量も38%減少している。

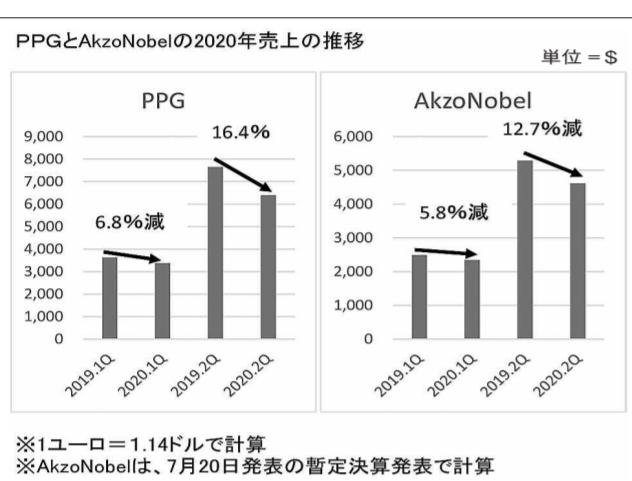
特に自動車OEMコティングの減少は大きい。自動車の生産が大幅に削減された影響により、前年同期比で約50%減少、米国とヨーロッパの生産は月に堅調に改善してきており、これにより中間決算月に堅調に改善してきており、前年同期比16.4%の減少となつた。

PPGの売上高は第2四半期の4月～6月期の売上は30億1500万ドルで、前年比25%減少した。インダストリアルコatings分野の第2

ジャーメーカーにおいても、コロナの影響が第1四半期より拡大している。

第2四半期、コロナ影響拡

決算ハイライイト



(約22億6500万ドル)と発表した(7月20日付)。コロナの影響は第2四半期も続き、5月の収益は前年同月より約20%減少、6月の収益においても5%近く減少了。同社の影響は地域やセグメントごとに大きく異なり、建築用塗料の需要はヨーロッパで強く反発し、同社計画よりも回復が早かつた。第2四半期終了までに、中国は以前のレベルにほぼ回復したが、他の地域はロックダウンの影響を受けた。これにより中間決算は、40億4500万ユーロ

スの影響が響く 국내
経済であるが世界経
済も同様だ。パンデ
ミックのタイミング
から、寄稿を紹介す
る。

【はじめに】
新型コロナウイルス感
染症（COVID-19）
のパンデミックは、劇的
に人々の生活と企業に大
きな影響を与えていた。
この前例のない危機は、
グローバル規模で塗料お
よびコーティング製造業
者のビジネス環境に急速
な変化をもたらした。
コーティング市場は全体
的にパンデミックが発生
してから、大幅に減少し
ている。しかし、この縮
小にもかかわらず、塗料
メーカーにビジネス拡大
の機会も現れている。
【2020年上期の状況】
パンデミックにより、
塗料・コーティングの販
売量は世界中で大幅に減
少した。中国では第1四
半期に売上高が30%減
少、第2四半期には北米
とヨーロッパの両方で約

Global Report

COVID-19 が市場に与える 影響とビジネス機会

Impact of COVID-19 on the Global Market and Business Opportunities

By. Osamu Kiriha, Xilin Li, and Douglas Bohn
of Orr & Boss Consulting Incorporated

20%減少したと推定している。アジアでは、第2四半期の売上高は南アジアで最も大きい。中国は第2四半期末に、パンデミック前の水準に回復した。前述の売上の減少について、分野・地域により、かなりのバラつきがある。たとえば、北米とヨーロッパの両方で、建築コーティング(デコラティブ)市場は比較的好調である。ロックダウンが解除となれば、建築コーティングの需要は2020年を通じて北米とヨーロッパ両市場とともに今年成長すると予想している。この主な理由として、消費者が家に滞在する時間が長くなり、旅行やレストランへの外出が制限されることにある。代わりに、余暇時間が自宅のリノベーションに使われ、実際にDIY塗料の販売量は両市場で10%以上の急増と勢いを見せ、好調である。

一方、北米とヨーロッパの両方でのロックダウン中に、自動車OEMと自動車補修用塗料の売上は50%以上減少している。自動車ラインはパンデミックにより閉鎖され、6月になって、生産量を増加し始めたところにある。自動車補修用塗料の売上も大幅に減少した。人々は自宅でのテレワークが増加し、娯楽目的での外出が制限された。交通量は北米とヨーロッパでほぼ50%減少し、インド・ムンバイなどの一部のアジアの都市ではそれを上回っている。したがって、自動車

20%減少したと推定している。アジアでは、第2四半期の売上高は南アジアで最も大きい。中国は第2四半期末に、パンデミック前の水準に回復した。前述の売上の減少について、分野・地域により、かなりのバラつきがある。たとえば、北米とヨーロッパの両方で、建築コーティング(デコラティブ)市場は比較的好調である。ロックダウンが解除となれば、建築コーティングの需要は2020年を通じて北米とヨーロッパ両市場とともに今年成長すると予想している。この主な理由として、消費者が家に滞在する時間が長くなり、旅行やレストランへの外出が制限されることにある。代わりに、余暇時間が自宅のリノベーションに使われ、実際にDIY塗料の販売量は両市場で10%以上の急増と勢いを見せ、好調である。

一方、北米とヨーロッパの両方でのロックダウン中に、自動車OEMと自動車補修用塗料の売上は50%以上減少している。自動車ラインはパンデミックにより閉鎖され、6月になって、生産量を増加し始めたところにある。自動車補修用塗料の売上も大幅に減少した。人々は自宅でのテレワークが増加し、娯楽目的での外出が制限された。交通量は北米とヨーロッパでほぼ50%減少し、インド・ムンバイなどの一部のアジアの都市ではそれを上回っている。したがって、自動車

OEMコーティング市場と同様に、自動車補修市場も第2四半期に50%以上減少した。粉末塗装、一般産業、コイル、その他の市場など、他のコーティング部門では、20~40%の範囲で減少が見られている。

地域では、アジア市場の状況は、より複雑となる。パンデミックが第1四半期が始まつてから、中国コーティング市場は30%減少した。しかし、この市場は第2四半期に回復し始め、ほぼパンデミック前のレベルに戻っている。他の地域では、ロックダウンの状況により、地域差がある。日本国内では、コーティング市場は第1四半期に約6%、第2四半期に20%減少したと予測している。インドと南アジアでは、建築用コーティング市場は第2四半期に約50%落ち込み、非建築用市場でも各々のセグメントで50~80%減少したと考えている。

2020 Forecast Coatings Volume Growth Rates

Region	Growth Rate (%)
Global	-5.5%
Latin America	-6.5%
Asia	-6.0%
Middle East & Africa	-5.0%
Europe	-4.5%
North America	-3.5%

【ビジネス機会】
市場の全体的な減少にもかかわらず、今後成長に期待する分野がある。例えば以下のようないくつかのビジネスチャンスが広がりそうだ。

抗ウイルス・抗菌コートイング
パンデミックを考えると、この市場は2020年に4~5倍に成長するだろう。パンデミック解除後でも、消費者が自分の家や使用する製品への健康や安全に対する意識が高まり、抗ウイルスおよび抗菌コーティングの市場は、引き続き強いと予想している。

【自動車補修】
自動車補修市場は今年苦境にあるが、それが回復する予想している。消費者は公共交通機関での移動を見直し、交通量はおそらくパンデミック前のレベルに戻り、さらには増加する可能性がある。中国では、混雑レベルがパンデミック前のレベルに戻ったため、この傾向が見られた。

【自動車トラック】
世界の主要な政府の一部は、インフラプロジェクトに焦点を当てた景気刺激策を検討している。米国、EU、中国で、検討が始まっている。これらの計画が実現すれば、インフラ市場に関連するコーティングが大幅に成長すると予想される。これには、インフラアプリケーションで使用される建設・土木機器(ACE)コーティングと保護コートイングが含まれる。

【まとめ】
2020年の世界のコーティング市場は「数パーセントの減少」に収まるとの予想だ。最悪の状態が私達に迫る一方で、市場は今後も増加し始めると思っている。北米とヨーロッパでは、建設コーティング(デコラティブ)市場とパッケージコーティング市場が成長を牽引するだろう。アジアでは、ほとんどの市場が今年後半には回復し、併せてある程度の成長も示すと期待している。

この予測では、ウイルスによる影響でほぼ横ばいと予想する。また、中国は総量で5~10%減少となるだろう。また、建築コーティング市場は、ほぼフラットになるまで回復を見せる。非建築の工業用コーティング市場は、数量ベースで約5%減少すると予想し、自動車OEMは20%以上減少、他の工業用OEM市場ほど減少しないだろう。

【ビジネス機会】
市場の全体的な減少にともかかわらず、今後成長に期待する分野がある。例えば以下のようないくつかのビジネスチャンスが広がりそうだ。

アウトドアおよびレクリエーション用具
同市場は、成長に向けた段階のサブセグメント市場となる。今年と来年に期待されるニッチコーティング市場は、北米のレクリエーションビーチ(RV)、バイク、釣り竿、その他の屋外スポーツおよびレクリエーション用具のコーティングが伸びると考えられる。

自動車補修
自動車補修市場は今年苦境にあるが、それが回復する予想している。消費者は公共交通機関での移動を見直し、交通量はおそらくパンデミック前のレベルに戻り、さらには増加する可能性がある。中国では、混雑レベルがパンデミック前のレベルに戻ったため、この傾向が見られた。

自動車トラック
世界の主要な政府の一部は、インフラプロジェクトに焦点を当てた景気刺激策を検討している。米国、EU、中国で、検討が始まっている。これらの計画が実現すれば、インフラ市場に関連するコーティングが大幅に成長すると予想される。これには、インフラアプリケーションで使用される建設・土木機器(ACE)コーティングと保護コートイングが含まれる。

まとめ
2020年の世界のコーティング市場は「数パーセントの減少」に収まるとの予想だ。最悪の状態が私達に迫る一方で、市場は今後も増加し始めると思っている。北米とヨーロッパでは、建設コーティング(デコラティブ)市場とパッケージコーティング市場が成長を牽引するだろう。アジアでは、ほとんどの市場が今年後半には回復し、併せてある程度の成長も示すと期待している。



公共投資によるインフラ関連が期待されている